



令和3年度

稔ヶ丘高等学校学校経営計画

セルフコントロール

自分を高め 前に踏み出す強い心

他者とともに生涯
チャレンジし続ける社会人

チームワーク

多様な他者と協働して問題解決に向かう力

クリティカルシンキング

疑問をもち考え抜く力

1 学習指導

ア 授業の質を向上させる。

- ・アクティブ・ラーニング推進校であった成果を活用し「考える」授業を推進する。
- ・ICT機器を使った授業を工夫・研究して、授業理解に活用する。
- ・ALCM コミュニティ指定校として、研究授業や授業公開に取り組む。

イ スモールステップを活用して自己効力感を養い、「自発学習」する生徒を育てる。

- ・学習到達目標を明確にし、小さな達成感を積み重ねて基礎学力の向上を図る。
- ・毎回の小テストや自宅学習の工夫で「自発学習」を習慣づける。
- ・基礎力診断テスト結果を活用し、外部模試も積極的に受験させる。

ウ 年間を通じての学習指導。

- ・補講等を活用して、検定試験や模擬試験等の受験を積極的に奨励する。
- ・社会体験実習を推進し、マイレージを伸長させると共に主体性・協調性を高めさせる。
- ・「みのりゼミ」や講習会、オンライン英会話等、伸びる生徒には負荷をかけて、ワンランク上の学びを促す。
- ・オンライン学習を実施し、不測の事態にも対応できるよう環境を整備していく。

2 キャリア教育指導

ア 組織的なキャリア教育を確立する。

- ・1年次から卒業年次までの一貫したキャリア教育を確立するための再点検を行う。
- ・個々の生徒に対応できるシステムを模索する。

イ キャリア教育を通して「社会的な自立」を促す。

- ・1年次のキャリア教育により、社会の中での自他の肯定感を高めるとともに、ピアサポート（仲間同士の支え合い）による学校生活への定着と、コミュニケーション能力の向上を推進する。
- ・キャリアパスポートとして e-ポートフォリオを活用して、生徒自らが自立した進路活動ができるよう支援する。

ウ 「社会的な自立」を実現する指導を行う。

- ・マイレージを活用して、ボランティア活動やインターンシップ、上級学校訪問等に積極的に参加させ、将来設計につなげる。
- ・ハローワークや若者サポートステーション等の外部機関と積極的に連携する。
- ・自立のための社会性やマナーを育成する指導を推進する。

3 生徒指導

「自他のチャレンジを尊重する」を合言葉に、組織的な生活指導を推進する。

ア 安心安全な学校を創るとともに、いじめや体罰を根絶する。

- ・人権尊重の精神で、他人のチャレンジを邪魔しない意識の育成。

イ 落ち着いた学校生活をおくらせる。

- ・ノーチャイム制により、自律的なスケジュール管理の力を育てる。
- ・全校で「笑顔で挨拶」を励行する。
- ・校風の正しい着用（特にスカート丈）と身だしなみ指導の推進。
- ・コミュニケーション力を向上させ社会で活動するためのマナー身に付けさせる。

ウ 文化祭、みのり杯等の行事を、社会情勢に合わせて実施する。

エ 生徒の自主性を育てるHR活動や生徒会活動を推進させる。

オ 部活動や委員会活動を振興して、校内の雰囲気活性化を促す。

カ 部活動、委員会活動への参加を促し、コミュニケーション力を身に付けさせる。オリンピック・パラリンピック教育を通じ、国際理解や異文化理解について取り組み・継続していく。

4 教育相談・保健指導（心と体の健康づくり）

ア カウンセリング委員会を中心に種々の相談機能（スクールカウンセラー、自立支援チーム、みのりの場、スクールソーシャルワーカー等）を向上させる。

イ 情報交換会における生徒情報を活かし、特別支援教育コーディネーターを中心に配慮を要する生徒の支援を行う。

ウ いじめの未然防止と早期発見に組織的に努める。

エ 体育や部活動を通して、スポーツの楽しさと健康管理の大切さを知る機会を設ける。

5 募集・広報活動

ア 各種説明会を通して受検生や保護者、中学校、適応指導教室等への学校理解を深める。

イ 入学者選抜の結果を分析し、今後の改善に活用する。

ウ Web ページを充実させ、中学校や適応指導教室等に情報を発信し、募集・広報活動の改善・工夫する。

エ NPO 等と連携して、本校における教育活動の理解啓発を行う。

6 地域交流、ボランティア活動、防災

ア 幼稚園や小・中学校、特別支援学校、町会、社会福祉協議会等、地域との関係機関との連携を強化する。

イ 防災訓練など地域との交流活動をより一層推進するなど、ボランティア活動を活性化させる。

ウ 「みのり保護者の会」及び「卒業生の会」の組織化に協力し、連携を図る。

エ 災害に備えた校内体制を整える。（学校安全・防災対策委員会）

オ 震災を想定した防災訓練及び準備と検証を行う。

7 経営企画室

ア 教員との連携を強化し、経営参画型の企画室を構築する。

イ 効率的な予算執行を通して、学校経営計画を具現化する。

ウ 都民の教育ニーズを的確に把握して、行政的視点から学校経営に反映する。

8 環境整備担当

ア 清潔で安全な学校環境を維持整備する。

イ ゴミの分別指導や共通部分の清掃を徹底する。

ウ 修理・修繕を迅速に手配し、円滑な教育活動の推進に寄与する。

9 図書室

ア 生徒の「読みたい」「知りたい」読書環境を充実させる。

- ・生徒の自発学習・自発読書環境を整備する。
- ・授業に資する本を推奨するとともに、図書室を積極的に授業で活用する。
- イ 英語多読ルーム、多読コーナーを充実させる。
- ・英語における自発学習環境を整備する。

10 研究・研修

ア 令和4年度改訂学習指導要領の実施に向け、各教科で検討研究する。とくに観点別評価の在り方について研究する。

イ 研究課題を設定して、全校で取り組む（教育庁指定事業）。

- ・アクティブ・ラーニングの向上（指導部研指定）
- ・生徒の自尊感情と自己肯定感について
- ・人材育成と自己研鑽をめざし、研修研究を積極的に行う。

学習指導

- アクティブ・ラーニングを実践し、対話的で深く考える学習活動に取り組む。
- ICT 機器の充実と利用を促進し、次世代教育の在り方を検討する。
- 小テストや家庭学習などにより、成功体験を増やす。
- みのりゼミや補習補講を実施して、希望実現に向けた支援を行う。
- 英検や漢検等の検定試験や資格取得試験の受験を励行し、自信をもたせる。

キャリア教育

- 個に応じた指導を基盤に、e-ポートフォリオを活用し、進路意識を醸成する。
- プレゼンテーション能力の向上を図る。

生徒指導

- マナーやルールを身に付けさせる。
- みのり杯や稔祭への主体的な参加を通じて、自発性や忍耐力を培う。
- 部活動の加入率を高めるとともに、ボランティア活動を推奨する。

教育相談・保健指導

- 外部人材や支援組織の力を集約して、効果的な相談業務を推進する。

募集・広報活動

- Web ページを充実させ、募集・広報活動を推進する。

経営企画室

- 教員と連携を強化し、都民の視点に立った、効率的な組織運営を心がける。

学校経営

- 報告相談連絡を徹底し、組織として対応するとともに、人材育成に取り組む。